

北斗だより

令和6年度 第5号
(7月31日発行)
愛媛県立今治北高等学校

「1学期終業式式辞から」

校長 二神 弘明

保護者の皆様には、いつも大変お世話になっております。1学期を振り返り、終業式の式辞で以下のような話をさせていただきましたので、ご紹介させていただきます。生徒の皆さんも今一度思い出して、今後の自分自身の進むべき方向性を考えてください。

(以下、終業式式辞の内容です)

1学期の始業式で本校のスクール・ミッションやスクール・ポリシーさらに校訓について再確認した後、元旦の能登半島地震をはじめ、様々な出来事をあげ、毎日の平穏な暮らしは、決して「当たり前」でないことを肝に銘じなければならない。明日は我が身、いつ自分たちが困難な状況に陥るか分からない。だから、一人一人平等に与えられた時間を無駄にせず、日々過ごしていきましょう。そして、宇宙飛行士候補の米田あゆさん、現メジャーリーグ、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手を例に、どんなスペシャリストも、その第一歩は「夢」を持つことから始まり、そのために目標を持って日々努力を続けること、この積み重ねこそが大切であることを証明している。さあ、みなさんもこの1年、夢に向かっての一步である自分なりの目標を見つけ「何か一つ打ち込めるものを作ってください」。時には迷うこともあるかもしれませんが、その時は「難しい道」を歩んでください。みなさんには「若さ」というエネルギーがあります。そのためにも決して易きに流されないでください。ということをお願いしました。自分自身に問いかけてみてください。順調に進んでいる人、そうでない人もいるかもしれませんが、自分と向き合って次につなげていってください。

毎日ただ漠然と楽しいことだけを繰り返すか、目標を持って日々過ごすか、この違いが、2学期以降の学校生活に大きな影響を及ぼすことになります。部活動や補習、資格取得、3年生は進路実現に向けての大切な時間です。長いようであつという間に過ぎ去るのも夏休みです。是非自分にとって有意義な時間を過ごしてください。

7月3日に約20年ぶりに新紙幣が発行され、紙幣の顔が新しくなりました。皆さんはもう知っていると思います。1万円札は日本の資本主義の父とされる実業家の渋沢栄一、5千円札は女性の地位向上に尽力した教育家の津田梅子、千円札は破傷風の治療法を確立した微生物学者の北里柴三郎です。その中の一人、渋沢栄一の有名な「夢七訓(ゆめしちくん)」を紹介します。よく聞いてください。

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし
故に幸福を求むる者は夢なかるべからず

最後の「幸福を求むる者は夢なかるべからず」とは、実際に行うことができなければいい結果は得られない。いい結果が得られなければ幸せになれない。だから幸せを求めるものは「夢」なしではいけない。という意味です。(【幸福に成りたければ夢を持ちなさい】という意味です。)

最後に、長い夏休みです。家族との対話、地域への貢献、様々な体験をしてください。万が一困ったこと、何かあった場合は、担任の先生または学校まで連絡してください。報告・連絡・相談(ホウ・レン・ソウ)よろしく申し上げます。皆さんにとって、充実した夏休みとなること、2学期に元気な姿で再会できることを楽しみにして1学期終業式の式辞といたします。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切り取り -----

____年 ____組 名前_____